# 交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科：理工学部・生命科学科

学籍番号：

氏名：

※留学を希望している近畿大学学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか。

☑同意する　　☐同意しない

同意する場合、連絡可能なメールアドレス

留学先国名：Russia

留学先都市：St.Petersburg

留学先大学：ITMO university

留学先所属学部：Biotechnology

留学期間：2021年8月～2022年1月

学年（出発時）：4年

帰国報告書提出日：2022年2月10日

## １．留学先大学について

### （１）留学先大学の特長

ITMO大学は、国際色すごく豊かで、たくさんの留学生がいます。クラブやコンペティションもすごく活発で、みんな生き生きとしています。ITに特化した大学で、本当にたくさんのIT学生がいます。キャンパスも4つあって、自由に行くことができます。ピアノを弾きたい時は、部屋を借りてピアノを弾くことができます。コワーキングスペースが24時間営業なので、いつでも学習できます。とにかく素晴らしい大学です。

### （２）留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

ITMO大学にはBuddy systemというクラブがあって、これは留学生を対象に、大学の学生が生活をサポートしてくれます。例えば、僕の場合はGymに行くための健康診断、PCR検査の予約、ボーリング、スケート、他の街に行くときにすべきことのサポート、携帯の契約、学生キーの制作、銀行カードの作成などなど、たくさん助けてくれました。

勉強面でのサポート

勉強は、全て自分がしたいことをするので、基本的にはないです。わからない時は寮のルームメイトに教えてもらったりしました。

精神面でのサポート

精神面でのサポートは、信頼できるロシアの友達に「人と話しすぎて疲れちゃったんだよねー」とか言って、お話を聞いてもらったり、サンクトペテルブルグはどこを歩いても綺麗なので27 Kmくらい時には歩いて、気分を晴らしていました。

生活・住居面でのサポート

住居面でのサポートは、まずは寮の登録だったりはバディーが一緒にいてくれました。それ以外の洗濯とか、食事とかはルームメイトに聞いたり、ロシア語でなんとか聞いてやっていました。人に頼るよりも自分でやったほうが楽しいと思うので、サポートはないほうがサバイバル感がでて、人生面白いです。

２．生活環境等について

（１）住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

まず、寮に入った時は隔離でPCR検査の結果が出るまで違う部屋に収容されていました。その時は劣悪で、シャワーも茶色のシャワーでした。本当にくそでした。そして、さくらは泣いていました。ですが、僕はこの環境を楽しめていることにすごく快感を覚えました。そして、それが終わってついにずっと住む部屋に移動したのですが、そこは3人部屋でロシア人とタジキスタン人でした。2人はIT guyなのでなんでも教えてくれました。そして、時にはモチベーションをあげる感じで、彼はスティーブ・ジョブスのお話だったり、イーロンマスクだったりのお話をしてくれました。本当に素敵な人でした。でも、きた時は香水を30プッ

（２）パソコンについて

PC の保有状況：☑日本から持参した　☐現地で購入した　☐保有しなかった

Wi-Fi の有無：☑有　☐無

住居内でｲﾝﾀｰﾈｯﾄに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

ルームメイトの1人がWi-Fiを契約したので、月に180ルーブル（270円）くらい送金しました。

大学での PC の使用可否：☑使用できた　☐使用できなかった

大学で PC を使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

ITMO大学ではどこでも使えます。制限はないです。

（３）医療について

Health center（大学内施設として）の有無：☑有　☐無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

モスクワの友達の家に3週間くらい滞在していた時に、疲れでインフルエンザになってしまいました。40℃の熱が出たので、救急車とドクターを呼んでくれて、それでインフルエンザとわかったのですが、薬をもらって、注射をお尻に打ってもらいました。ロシアの医療は無料ということで、お金は何も払わなかったですし、あらかじめ加入していた保険も何も使わな

（4）銀行口座について

留学先で口座を開設しましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

登録しました。まず、登録したいですって言って、バディーと一緒に銀行アカウントを登録しました。

（5）異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

ロシアの文化は腐るほど経験しました。まず、コミュニケーションをしやすいです。なんでも聞いていいですし、初対面からハグもします。例えば、日本で初対面で家族のことを聞くと、え？って思われますが、ロシアでは、家族のこと、日本のこと、僕について徹底的に質問されますし、質問することも全くおかしくなくて、当たり前なので、コミュニケーション

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

向こうでは、日本語クラブに属していて、日本語クラブに遊びに行ったりしました。あとは、オムスクに行った時にセラミック教室の先生の友達が日本語教室を運営しているということで、日本語教室に行って日本語を教えたりしました。別でサンクトでも日本語教師として少しだけ働きました。課外活動は数えればキリがないです。特に思い出に残っているの

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

サンクトペテルブルグはモスクワより危険ということをよく聞いたのですが、それは色眼鏡・固定観念でしかなくて、実際にサンクトペテルブルグは北新地より10倍は安全でした。何かをとられることは一切ないし、地下鉄で変な人に話しかけられたこともないです。危険な目にあったことは本当にスーパーでのあのことくらいで、夜中の2時に外を歩いていた時も

3．後輩へのアドバイスについて

（1）現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

なし

（2）日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

ファブリーズ詰め替え5個以上（冬の場合）。僕はファブリーズを3つしか持ってきていなくて、途中でなくなって悲しくなった。
ロシア人にプレゼントするお菓子大量。僕はスーツケースの半分にプレゼントとしてお茶だったり、お菓子などの日本食を入れていたのですが、足りなかった。たくさんの人と関わ

（３）留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿点（級）

留学後－資格試験名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿点（級）

なし

（４）留学において最大のトラブルは何でしたか。

基本的にトラブルはなかったのですが、あげるとすれば、3つあります。1つは、ファブリーズが途中でなくなってしまったことです。そのせいで、ジーパンを綺麗にする手段がなくなっちゃったので、ジーパンを着るのは汚い感じで嫌でした。もちろん洗えますが、ジーパンのインクが落ちちゃうので嫌でした。もう一つは、分刻みのスケジュールで人と会いすぎ

（５）授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

クラスの人数は、20人くらいです。多い時は、150人くらいの大きな会場で行いました。成績評価は、プレゼンや、宿題、出席は関係ない感じですが、先生によって違います。僕はロシア語のクラスが土曜日だったので予定が合わなくて2週間に1回のペース休んでいましたが、大事なのは結果であって、どれだけ授業を休んでも実際にロシア語が先生が望んでいるレベルに話せるようになればそれでおkなので、成績も良かったです。なので、ITMO大学の成績評価の付け方は本来の学習目的の根底である、結果がよければそれでよしの成績のつけ

（６）留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

友達が仕事を探してくれるところでバイトをしていたので、履歴書の書き方を教えてもらって、サンクトペテルブルグの日本語学校に連絡をとってくれて、日本語の先生として少しだけ働いていました。ですが、途中でつまらないとわかってやめました。

４．費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

（１）留学時のレート：1.47 - 1.6

（２）航空運賃：17万+1.2万+0.7万+1.5万=20.4万

（３）住居費（月額）：1500円　×留学期間月数5　カ月＝7500円

（４）食費（月額）：40000円　×留学期間月数5　カ月＝200000円

（５）保険料：20000円くらい

（６）その他：200000円（お土産、ホテル、経験

（７）留学費用の合計：650000円くらい

５．その他　自由に記入してください。

僕は本当に、高校生の時からずっとずっと夢見ていた。長期留学。英語も全く話せない時から、ずっと夢見てきたこの長期留学で、中学生の時には派遣でシンガポールに行っている子を見ていいなぁ。羨ましいなぁって思っていた。その頃は、僕の評価も評判も先生たちからは最悪だったから、もちろん受かるはずがないし、その頃はいじめられていたり、悪さをしたりしていたので、もちろん受けようとする自信もなかった。そして、高校生の時にはこころに出会って、そのおかげで外国に興味をもっと持った。それで、将来は留学に行きたいって強く思った。同時に高校の頃にいじめにあっていたし、高学年も低学年も僕がいじめられていたことをみんな知っている。だから、僕の高校はアンチばかりだった。話したこともない人から見下した笑いをされたり、常に僕を見下ろしている目。本当に嫌だった。学校中で僕がいじめられていることやうその噂を言われ、陥れられた。だから、愛知県から出たいって強く思った。そのおかげで、ついに大阪の近畿大学に入学を果たすことができた。そして、入学を果たしてすぐに、僕は「大学生でやりたい100のこと」を作った。その上位にあったのが留学だった。ある日、何かの巡り合わせで、同じ生命科学科のユッキーと出会った。彼はロシアが大好きで、ロシア語を独学で学んでいただとか、そんなことを言っていた。僕はロシアに全く興味がなくて、１mmも知らなかった。だけど、ある日、理工学部の中で数名がロシア短期留学に参加できるということを知ったので、それに参加することにした。そして、無事に合格して僕はロシア短期留学に行くことができた。そこの先が、ここサンクトペテルブルグだった。そして、この街で僕はアリョーナに恋をしてしまった。そし

６．留学先大学のキャンパス等、思い出に残る写真をぜひ添付して送信してください。